

子どもから地域へ発信 KYT大作戦 (山口市立鑄銭司小学校)

〈ねらい〉

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動を行うことにより、地域ぐるみでの学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育むことを目的として実施する。



取組内容

- 1 実施期間：平成28年6月20日～平成29年1月13日
- 2 実施校：山口市立鑄銭司小学校（校長：中本 隆徳）
- 3 取組内容

取組の方向性について

《第1回 実践委員会の開催》

6月20日鑄銭司小学校で、第1回実践委員会を開催しました。安全・安心の学校生活に向けた取組の方向性等について、話し合いが行われました。

その中で、鑄銭司地区にある「地域の安全は地域で守る！」という伝統を引き継ぐとともに、「自分の生命・安全は、自分自身で守る！」にはどうすればよいかを話し合いました。

地域での課題を出しながら、危険予測学習を行っていくこと、子どもたちの安全確保に向けて、通学路の点検や変更等が必要なことを確認しました。

具体的な取組

1 教職員の交通安全研修

県主催の出前講座「学校安全セーフティライフセミナー」を活用し、交通事故の現状とその特徴、KYT（危険予測トレーニング）教材の活用や鑄銭司小校区内の道路状況について教職員間の共通認識を図りました。

特に、児童に対して「自分の身は自分で守る！」という危険予測・回避能力の育成が重要であるとの助言をいただきました。



〔学校安全セーフティライフセミナー〕

鑄銭司小学校校区内の特徴

- ・国道2号線をはじめ、大きな道路と小さい道路が入り組んでいる
- ・車の平均速度が速い
- ・地下道が多い
（自転車を使ったり下りたりする回数が増える）
- ・用水路やため池が多い
- ・工業団地も含め、大型車両の通行が多い
- ・時間によって慢性的に渋滞が起きやすい（セミナパーク）
- ・直線道路が多い
- ・家が点在しているために、自転車での移動が多くなる
- ・山や森が多い など

〔鑄銭司小校区内の特徴〕

2 鑄銭司交通安全隊

4年生を鑄銭司交通安全隊に任命し、次の取組を行いました。

(1) K Y T学習

通学路安全対策アドバイザーの方に加わっていただき、班に分かれて、事前に教職員が撮影した写真を基に①ここはどこか②どこが危ないか（危険予測）③どうすれば安全になるか（危険回避）を検討しました。お互いに自分の考えを発表しあうことで、自分では気づかなかった危険な箇所や回避方法に気づくことができました。

後日、その学習内容を全校児童の前で発表しました。



〔交通安全隊任命証〕



〔危険箇所等の検討作業〕



〔全校集会での発表の様子〕

(2) 児童・保護者による校区内の安全点検

4班に分かれて、通学路安全対策アドバイザー、保護者、地域の方と一緒に鑄銭司小学校区内の危険箇所がないか点検をしました。

地域の方に話を聞きながら、子どもたち自身では気づかない箇所にも目を向けることができました。子ども同士で話し合いながら、危険な箇所、安全な箇所を見つけて撮影を行いました。

自分の住んでいる地区ではなく、ランダムに点検地区を割り振ったので、新鮮な目で点検を行うことができました。



〔安全点検の様子〕

(3) K Y T資料や安全マップの作成

改めて何が危険でどのようにその危険から回避するかを話し合いながら、自分たちで撮影した危険箇所の写真で鑄銭司小独自のK Y T資料などを作成しました。

また、鑄銭司安全マップに、自分たちで調べた地域の危険箇所を書き加えました。



〔K Y T資料の作成〕



〔K Y T資料の発表〕



〔鑄銭司安全マップ〕

(4) 「たのしい発表会」での発表

保護者・地域の方に向けて、劇や音楽を交えて、鑄銭司地区の危険箇所やKYTの重要性について発表しました。

大勢の前で発表することで、児童たちの地域への情報発信力の向上や、参加者も地域内の危険箇所についての共通認識を図ることができました。

また、同時に会場に、KYT資料や安全マップを掲示して、全校児童・保護者・地域へ啓発を行いました。(現在も1階の中央掲示板に掲示しています。)



〔発表会の様子①〕



〔発表会の様子②〕



〔掲示物〕

3 学校運営協議会等との合同安全点検

自治会長、学校運営協議会長、育友会長、地域交流センター所長にも参加していただいて地域内の安全点検を行いました。

点検に当たっては、通学路だけでなく地域全体の安全を高めるよう留意して行いました。



〔地域での安全点検の様子〕

取組の総括

《第2回 実践委員会の開催》

12月16日に、第2回実践委員会を開催しました。

委員会では、中本校長から鑄銭司小学校の今年度実施した取組を紹介後、今後の鑄銭司小学校での学校安全の取組について、話し合いました。

学校安全の取組については、単年度の取組に終わらず、修正・改善等しながら取組を継続していくことや、学校・家庭・地域が連携して子どもの安全を確保していくことが重要であることを確認しました。



〔第2回実践委員会の様子〕

4 成果と今後に向けて

《成果》

- 全校児童が「自分の身は自分で守る」という安全意識が高まるとともに、学習内容を発表することにより地域への情報発信力が向上した。
- 家庭や地域の安全意識も向上したことで、地域の危険箇所等に関する情報もこれまで以上に学校に寄せられるようになった。

《今後に向けて》

- 継続的なカリキュラムとして定着させ、より安心安全な取組として発展させていきたい。
- 家庭・地域を巻き込んだKYT学習を実施するとともに、関係機関とも連携することで子どもたちの安全を確保していきたい。